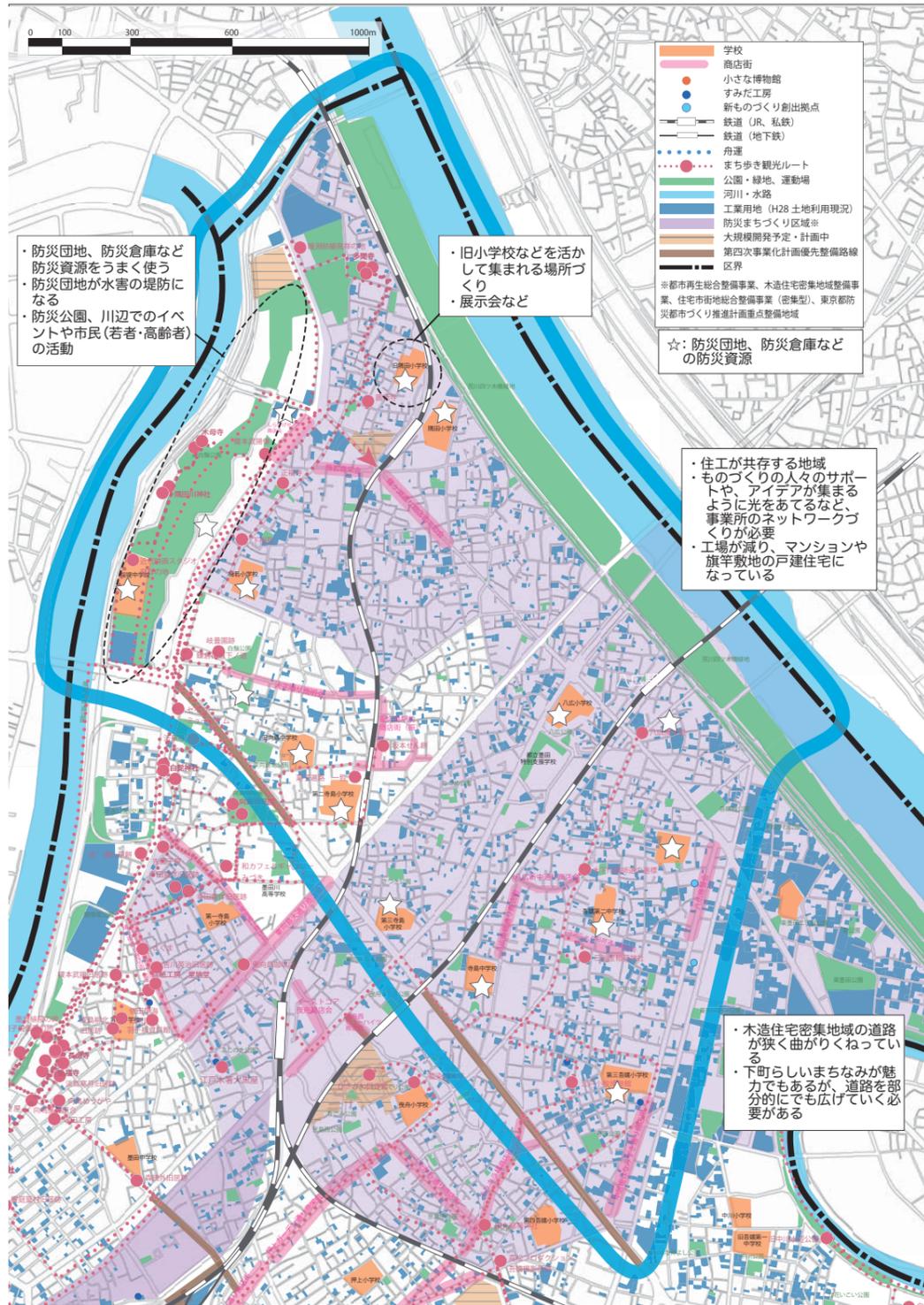


まちづくりの提案

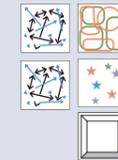
堤通・墨田・八広地域のまちづくり検討図



第1回まとめ

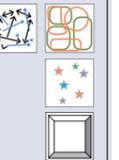
●資源と活かし方

- ①強いつながりを活かす集まれる場づくり
- ②ものづくりにスポットを当てたまちづくり
- ③防災の取組みを日常化する



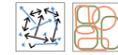
●課題と解決のアイデア

- ①マンションによる地域コミュニティの分裂
- ②ものづくりの減少
- ③木造住宅密集地域の改善



まちづくりの重要テーマの提案 (第2回まとめ)

●コミュニティのつながりを強化する身近な地域の拠点づくり



- ・住みやすい、仕事をしやすい環境整備を大事に、地域のものづくりやコミュニティにとけ込むマンションを受け入れていく
- ・工業を活かした観光資源づくりにより、地域を活性化
- ・耐震補強を考えながら、既存の大規模施設を活かして集まれる場づくりをする

●暮らしに根ざした防災まちづくり



- ・火災時の初期消火のため、普段の住民同士とつながり大事にするコミュニティづくりを
- ・津波被害を想定し、避難場所になるマンションを適度な範囲で受け入れていく

●事業所ネットワークで住工共存のまちづくり



- ・事業者同士のコミュニティを大事に
- ・中小規模の向上が多いので、地産地消や観光の観点からものづくりにスポットを当てるなど、起業家にとって魅力的な仕事と場所に見える魅力発信をする
- ・区内の事業者のものづくりの展示会や教育機関とのコラボレーションによって、ものづくりの魅力発信をしていく

協働で進めたいまちづくり

テーマ案

●住みよさ(仕事・防災・子育て)をつくる地域力・コミュニティづくり

- ・川沿いの空間を利用して、子どもを中心に、地域住民と事業所や大学生が協力して、ものづくりや生活に根ざす防災などの体験型イベントを実施していく
- ・行政と地域が関わる姿勢を持って、自分たちでやる意識づくりをしていく
- ・地域資源である防災公園を活かす活動を行う
- ・事業者のネットワークにより、地域内で発注、相談し合う関係性を地域でつくることによって、地域で仕事をしたい、住みたいと思ってもらえるイメージづくりをしていく

○コミュニティのつながり、事業者ネットワーク
 ・地域・事業者同士のコミュニティの活力向上と防災力の向上

